

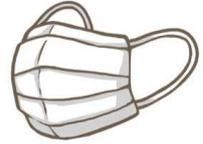


校長通信

No.10 令和2年7月7日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

学校を再開して1カ月余りが経ちました。マスクを着用し、不自由な生活を強いられながらも、生徒たちは、明るく前向きに学習に取り組んでいます。熱中症が気になる季節です。登下校や、授業中、状況に応じてマスクを外してもよいと指導しています。保健だよりでも、感染症拡大防止を考慮しつつ、熱中症対策をするよう呼びかけています。



マスクを外す、つけるの判断は難しいところですが、マスク着用の目的は、ウィルスが感染しているかもしれない飛沫を周囲の人に浴びせないためです。それを踏まえた上で自分の体調と、まわりの状況から、つけているマスクを外すかどうか判断する力が必要になります。各ご家庭でも、熱中症対策と感染症拡大防止について、話し合っただけであればと思います。

《河北地区子どもを育てる協議会・理事会開催》

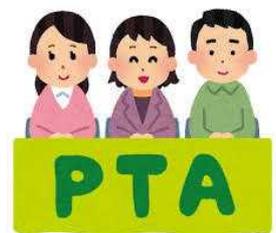
令和2年度河北地区子どもを育てる協議会理事会が、7月1日午後7時から河北中学校校長室で開催されました。例年であれば、理事会の後、総会が開催されるのですが、感染症拡大防止の観点から、総会は中止となりました。河北地区子どもを育てる協議会は、河北中学校区内に在住する保育園・幼稚園・小中学校の幼児・児童生徒の健全育成と福祉の向上、そして保護者の啓発を目的としています。

今年度、本会の会長は、野崎地区連合自治会長さん、副会長は、湊地区の連合自治会長さん、本校育友会長さんが就任されています。また、校長も副会長、教頭が理事、生徒指導主任が書記を務めています。

校区内の4小学校の校長先生（湊幼稚園兼任園長含む）も理事として、本理事会に出席してくれました。議事の最後に、各学校の情報交換を行いました。感染症拡大防止に各学校、工夫しながら取り組んでいるようです。今回の分散登校のおかげで、特に1年生の担任は、新入児童、一人一人とじっくり向き合うことができたプラスの効果報告してくれた学校もありました。有意義な会となりました。

《育友会実行委員会開催》

去る7月2日、第1回育友会実行委員会が開催され、今年度の活動について話し合われました。中止となる行事もある中、育友会新聞は、例年通り発行することになりました。また、グラウンドの走り幅跳び用の砂場に砂を足して、整備していただけたという、ありがたいお話を提案いただきました。



校長からは、日頃、地域の見守り隊の方々、生徒の登下校を見守ってくださっていますが、育友会の方々からも、生徒の登下校を見守り、声をかけていただけるような機会を設けていただけたよう依頼しました。

お忙しい中、宮之原会長さんをはじめ、育友会役員の方々、前向きなご協議ありがとうございました。